

**熊本大学医学部附属病院地域医療支援センター地域医療システム学寄附講座  
「地域医療実践教育玉名拠点」の開設について**

1 地域医療実践教育拠点の概要

大学教員（指導医）を地域の医療機関に配置し、学生のみならず初期・後期研修プログラムの研修医等を受け入れ、教育・指導を行いながら、当該医療機関での診療や地域医療に関する研究を行う。

このことにより、地域における医師の育成・教育環境の充実と、地域における医師不足の解消を図る。

2 名称

「地域医療実践教育玉名拠点」

（熊本大学医学部附属病院地域医療支援センター  
地域医療システム学寄附講座）

3 設置場所

公立玉名中央病院

4 配置教員数

特任准教授、特任助教の2名

5 設置期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

6 設置費用（寄附講座寄付金）

2300万円（27年度）



## 《地域医療実践教育拠点の設置に至る経緯》

- 平成26年11月 熊本県地域医療支援機構理事会並びに評議員会議  
「地域の医療機関で、大学から派遣の教員が、診療を実際に行いながら、卒前教育から卒後の臨床教育まで行うために、各地域の中核病院等に大学の教育拠点を設置する」ことを提言し、当該方針について了承。
- 平成26年12月 地域医療支援センター分室(地域医療実践教育拠点)設置に関する検討会  
熊本市以外の地域の医療機関に対して、地域医療実践教育拠点設置に係る説明を行い、設置に向けた協力を要請。
- 平成26年12月末 公立玉名中央病院企業団から設置に係る申し出
- 平成27年2月 熊本大学総合企画会議  
地域医療実践教育拠点のモデルを、公立玉名中央病院に設置するため、地域医療システム学寄附講座の拡充を決定。
- 平成27年2月 地域医療実践教育玉名拠点の設置について記者会見
- 平成27年3月 熊本大学医学部附属病院、公立玉名中央病院企業団及び熊本県の間で、地域医療実践教育玉名拠点の設置に関する協定書締結。
- 平成27年4月 地域医療実践教育玉名拠点開設  
4月10日同拠点開所式及び除幕式実施  
(別添「地域医療実践教育玉名拠点開所式資料」参照)





Kumamoto University

地域医療実践教育  
玉名拠点開所式資料

# 地域医療システム学寄附講座 地域医療実践教育拠点構想

熊本大学医学部附属病院定例記者会見資料

2015年 2月13日



熊本大学医学部附属病院  
地域医療支援センター

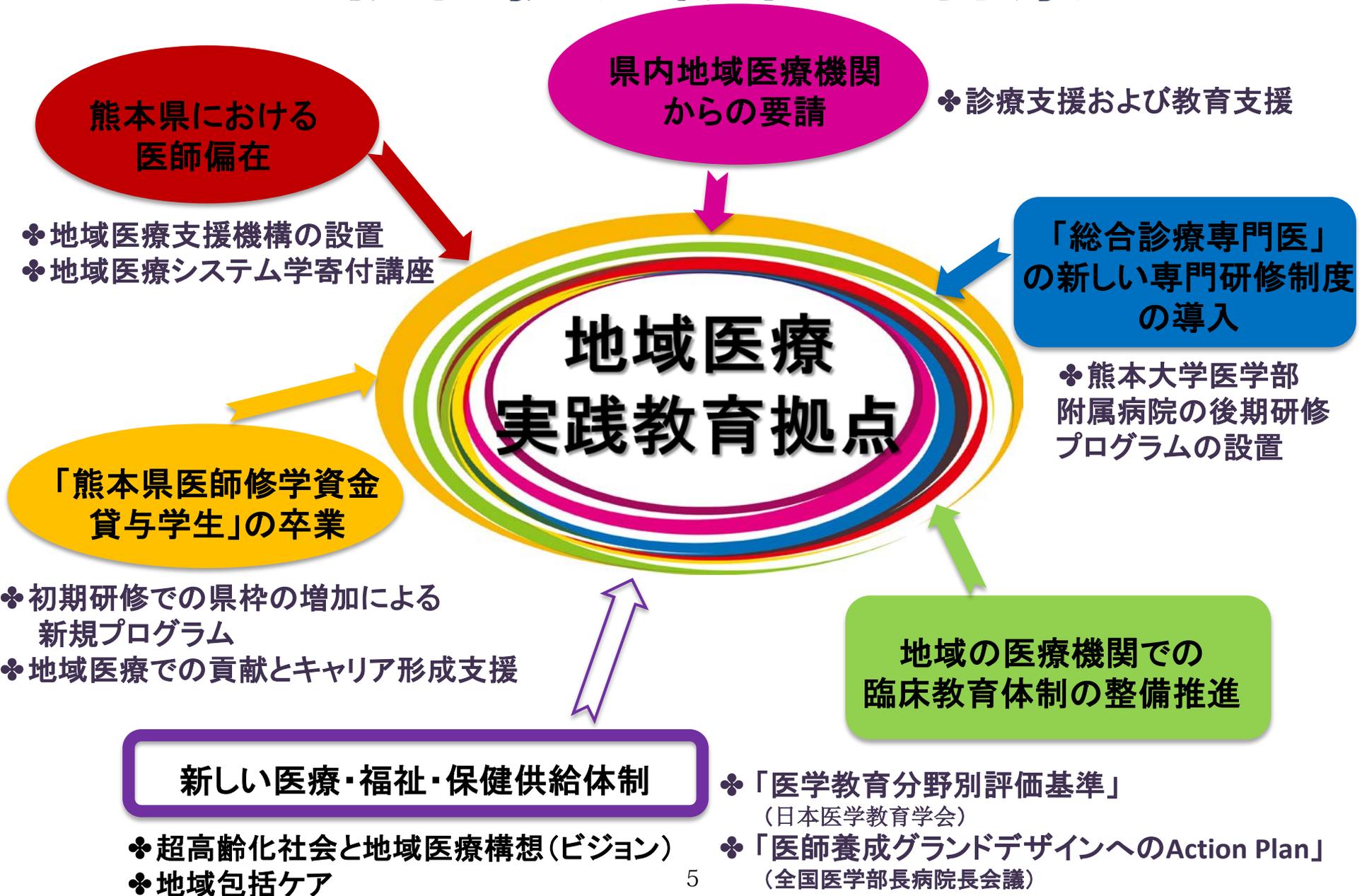


# 地域医療システム学寄附講座

## 地域医療実践教育拠点

- 地域医療システム学寄附講座の特任教員が、地域に常駐し、医療を実際に行いながら、卒前教育から卒後の臨床医養成を行うとともに、研究を推進し、地域医療の発展に寄与する。
- 学外の病院のご理解とご支援を頂きながら教育、研究及び診療を行い、その病院にも貢献する事を目指す。

# 教育拠点設置の背景



# 地域医療実践教育拠点を設置する必要性、メリット

関係団体	背景・共通の課題	個別課題	地域医療実践教育拠点設置によるメリット
熊本大学	医師の地域的な偏在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学教育認証制度のスタート（地域の医療機関における臨床実習の必須化）</li> <li>・地域医療や総合診療を教育するフィールドがない</li> <li>・卒前、初期臨床研修、後期研修まで切れ目ない教育環境の整備が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療や総合診療を教育できるフィールドを確保</li> <li>○地域の医療機関との連携強化が図られる</li> <li>○地域の特性に応じた地域医療に関する研究が可能</li> </ul>
地域の医療機関	医師修学資金貸与医師の地域での勤務がスタート（H29～） 新たな専門医制度の導入（H29～） 地域医療を担う総合診療医の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的な医師不足 ⇒地域の中核機能を維持できなくなる恐れがある</li> <li>・指導医の不足 ⇒専門医の資格が取得できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導医の派遣を受けることで教育機関としても充実</li> <li>○教育機関となることで指導医のみならず研修医なども集まる（医師不足の解消）</li> <li>○地域の中核機能の維持</li> </ul>
熊本県		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師修学資金貸与医師のキャリア形成支援</li> <li>・自治医科大学卒業医師の義務明後の県内定着率が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師修学資金貸与医師の勤務先となる地域の医療機関が教育機関として充実することで、当該医師のキャリアアップ（専門医資格取得）が可能となる</li> <li>○義務明後の自治医科大学卒業医師の受入先として選択肢が広がる</li> </ul>

地域医療に携わる医師	医師のキャリア志向、地域勤務への不安 大都市圏志向	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇医師が地域医療に従事しながら計画的に資格取得できる</li> <li>◇医師の地域で勤務することに対する不安が解消される</li> <li>◇医師の地域的な偏在の解消（医師不足地域における医師確保）</li> </ul>
------------	------------------------------	--

# 地域医療実践教育拠点設置の要件

地域医療実践教育拠点設置の要件は、現時点で、以下のとおり想定している。

## 【要件】

- (1) 地域の医療機関に見合う規模の総合診療部門が既に設置されているか、もしくは設置を予定している。
- (2) プライマリケア学会の後期研修プログラムを既に実施しているか、もしくはそれに協力する事を予定している。
- (3) 地域の医療機関の規模に見合うプライマリケア指導医がいる。
- (4) 特任教員としてふさわしい能力及びキャリアがある医師が確保されている。
- (5) 地域医療実践教育拠点設置に際し、地域の医療機関及びその設置母体の理解及び了承が得られ、予算措置がなされる予定である。

※ なお、(3) もしくは (4) を満たす事が現時点で確保できていない場合は、地域医療支援センターが人員を確保できる事が要件として加わる。

以上を踏まえ、医学部の卒前医学教育の意向や、熊本県の医療政策の意向も考慮して、設置を希望する地域の医療機関と大学病院（地域医療支援センター）とで協議を行い、最終的に大学病院で設置を決定する。

熊本大学



熊大病院

- 基本協定
- 運営協定
- 寄付金
- 設置に向けた支援

設置者  
(市町村等)

地域医療支援機構

医師の配置

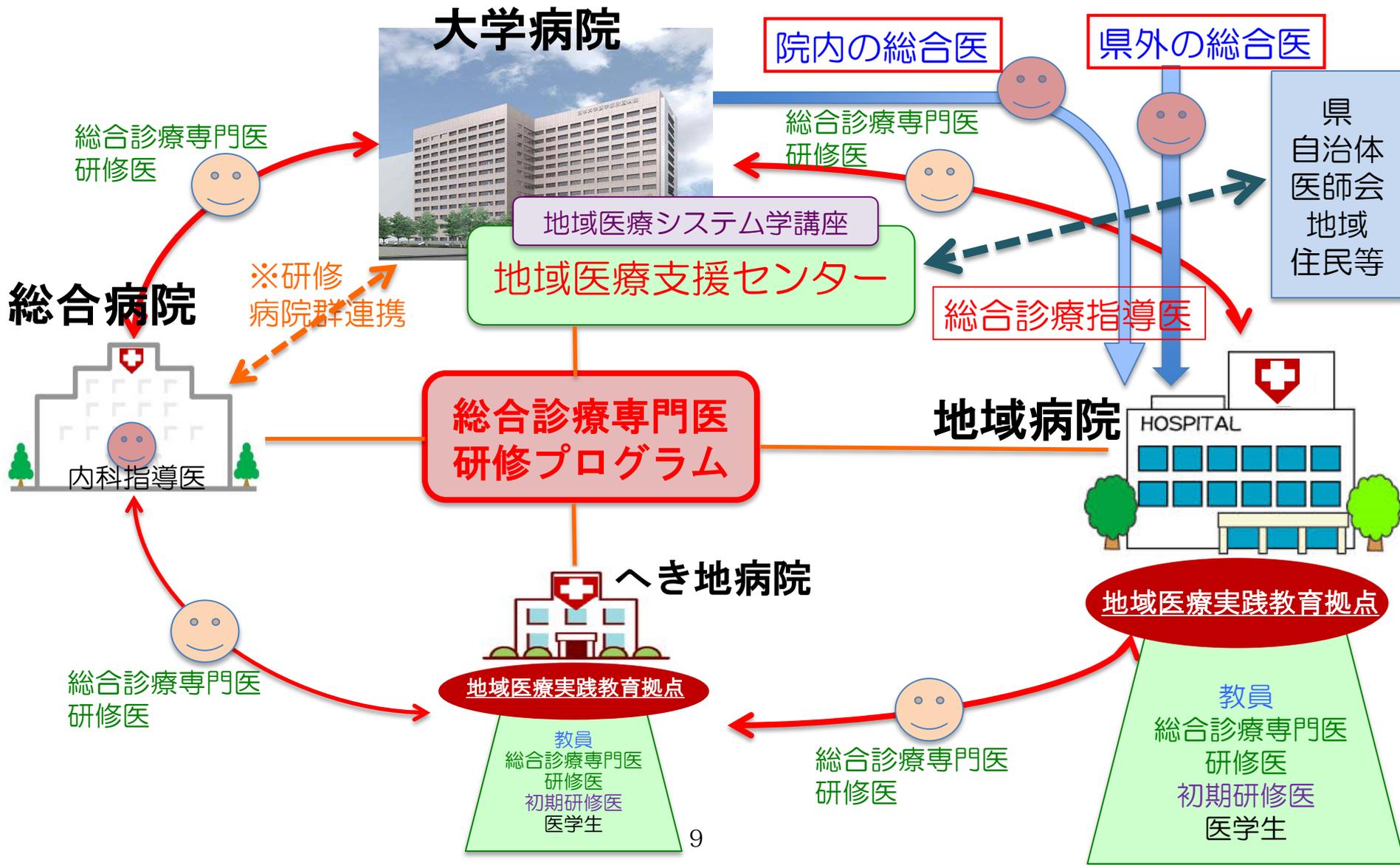
公的病院等

地域医療実践教育  
〇〇拠点

熊本県

コーディネーター

# 熊本県での総合診療専門医養成システム の観点からの役割／位置付け





熊本大学医学部附属病院が、熊本県及び公立玉名中央病院企業団の協力を得て、平成 27 年 4 月 1 日付けで設置された「熊本大学医学部附属病院地域医療支援センター地域医療システム学寄附講座地域医療実践教育玉名拠点」の開所式が、4 月 10 日 挙 行 さ れ ま し た。



当日は、玉名拠点がある公立玉名中央病院において、熊本県、玉名市、玉東町、熊本大学の関係者をお迎えし、水田熊本大学附属病院長及び中野公立玉名中央病院長の主催者挨拶に続いて、豊田熊本県健康福祉部長、高寄玉名市長及び竹屋熊本大学副学長から祝辞が述べられました。

水田熊本大学附属病院院長	豊田熊本県健康福祉部長	竹屋熊本大学副学長
中野公立玉名中央病院院長	高寄玉名市長	

最後に、玉名拠点に配置される田宮特任准教授及び小山特任助教から今後の抱負が述べられるとともに、玉名拠点の責任者である松井地域医療システム学寄附講座特任教授から謝辞があり、閉式となりました。

		
<p>田宮特任准教授</p>	<p>小山特任助教</p>	<p>謝辞を述べる松井特任教授</p>

続いて、公立玉名中央病院の中央玄関で看板除幕式があり、新しく設置された看板に、多くの関係者が盛大な拍手で祝いました。

